

## なんちゃって台湾台東大学開催<火鍋ラウンド>

H25.12.20,21(金・土) 国立台東大学

台湾国立台東大学において、30名の大学教師、中学校教師、学生等が集まり、日本の教育課程及び授業づくりについて情報交換をしました。

### 1 トピックス「日本の学習指導要領の改訂とそのポイント」 ～台湾12年間カリキュラム移行に向けて～



体育学系主任の陳玉枝先生の招へいで台湾の南、高雄に近い台東大学で佐藤より、学習指導要領改訂(中国版)を使って、日本の改訂の社会的背景、歴史の変遷、具体的改訂内容について情報を提供しました。続いて、茨城大学吉野先生から、ゼミ風授業づくりワークショップを通して、「よい授業とはなにか」について台湾の学生たちと意見交換をしました。中学校の教諭からは、系統化した際の



の学びそびれへの対応など鋭い質問も出ました。ネットワーク研究会の取組も紹介しました。

### 2 国立台東大学附属体育高級中学校(中高一貫校)



○台湾で最も強豪校である野球部、オリンピック選手を輩出するウエイトリフティング部の他、柔道、陸上、アーチェリー、水泳など450名の学生のための施設として、照明、観客席付き専用グラウンド、雨天用練習場、サブグラウンド、50m温水プール、柔道場、陸上競技上など鹿屋体育大学や県の陸上施設よりも広大と思われる敷地に驚きました。仙台大学、天理



大学などが遠征に来ているとのことでした。PAの専用ハイエレメントも設置され、どれだけ国費投入しているのかと思われる環境でした。台湾は施設を分散化せず、一点豪華型の方針を感じました。

### 3 台湾体育学会・文部科学省12年間一貫教育課程に関わる諸外国のカリキュラム動向シンポジウム



国立台湾師範大学のケイ先生の招へいでキーノート・スピーカーとして日本の学習指導要領の特徴についてお話をしました。左から、台湾師範大学林先生、程先生、台湾文部科学省の学習指導要領担当者の呉さん、ケイ先生、佐藤、韓国のyu先生、国立台湾体育大学の周先生です。

台湾では、高校入試をなくし、全教科12年間の一環した教育課程への変更論議が来年度に迫っていて、どの国のモデルを基本とするかというキックオフ会議の位置付けで、台湾文部科学省共同開催で3名の担当官も参加し活発な質疑応答を行っていました。台湾も、高校選択型の危機感が漂っており、その中で日本型444システムのインパクトはかなりあったのではという実感でした。韓国は、評価も含めて学校にゆだねる変更の印象でした。

次回予告！岩手わんこそば(北海道・東北)2014.1.4  
大分地獄(九州) 2014.2.22

多くの方の参加をお待ちしております！